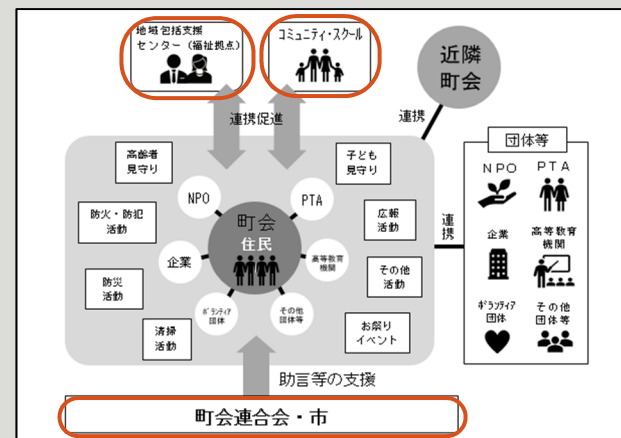


【令和3年度】「町会」・「地域包括支援センター」と連携した取組

本市では、今年度についても、コロナ禍で多くの制約がある中、各学校において、感染対策を講じ、様々な工夫を凝らしながら、「コミュニティ・スクール(CS)」の取組として様々な地域学校協働活動が展開されています。

その中でも、本市が連携を推進している

- ・ 登下校の見守り・防災訓練など様々な場面で学校の活動にご協力いただいている「町会」
- ・ 高齢者の相談窓口である「地域包括支援センター」(令和4年度から「福祉拠点」として機能拡充予定)と連携した取組事例について、ご紹介します。



《連携イメージ》 出典：(函館市)「町会活性化に向けた基本的な方向性」

① 「町会」との連携

青柳中学校・弥生小学校
青柳小学校・あさひ小学校

【青柳ネット(4校合同CS)主催】

「青柳ネット防犯パトロール隊」の活動

学校支援活動
(見守り活動)

活動の概要

- 令和3年4月15日、4校・校区22町会・各校PTAの三者で組織する「青柳ネット防犯パトロール隊」の発足式を行った。
- これまで町会を中心に進めてきたパトロール活動を軸として、三者の連携により、児童生徒の通学の見守り等、防犯体制の強化を図ることを目的として、令和3年6月1日から本格的に活動を開始した。
- 毎月1日を「青柳ネット安全の日」に設定し、その他地域住民への啓発活動も進めている。



発足式

活動の成果など

- 通学路での不審者情報が相次ぐなか、本活動により、組織的な見守り活動ができるようになったほか、子どもたちが「地域に見守られている」という安心感をより強く持つようになった。



校外生活委員会

② 「地域包括支援センター」との連携

深堀中学校

【地域包括支援センターゆのかわ主催】

地域の「お散歩マップ」作成への参加

地域課題
解決学習
(福祉)

活動の概要

- 令和3年7月28日、「お散歩マップ」作成に向けた試し歩きが行われ、深堀中学校の生徒13名が参加した(有斗高校・深堀町会と合同参加)。
- 地域の見どころなどを伝える「お散歩マップ」づくりは、コロナ禍で地域の高齢者が自宅に引きこもりがちの中、外出機会のきっかけづくりとすることなどを目的とした取組である(主催：地域包括支援センターゆのかわ)。
- 3グループに分かれ、各ルートの「見どころ」「危険箇所」「休憩所」「トイレの有無」などを確認し、原案作成の準備を進めた。



試し歩き

活動の成果など

- 日頃から親しみのある深堀地区を高齢者の気持ちになって歩きながら、危険箇所などについて積極的に意見を交わすなど、生徒たちにとって地域との交流を深める貴重な機会となった。



ふりかえり作業(深堀町会館)